

“今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

☆最初のISS構成要素打上げから1705日経過しました

☆第7次長期滞在クルーのISS滞在は85日経過しました

☆ISS動向

マレンチェンコ宇宙飛行士は、宇宙環境下における心臓の動き・働きを調べるロシアの医学実験に参加しました。この実験では、ルー宇宙飛行士は“クルー・メディカルオフィサー”（医学担当）としてマレンチェンコ宇宙飛行士の支援に当たりました。

一方、ルー宇宙飛行士は、ロシアのサービスモジュール「ズヴェズダ」内の水のサンプル採取や、船外活動服のバッテリ充電を行いました。また、来週に予定されている固体／液体混合実験（CSLM2）実施に向け、装置設置および実験手順確認を終えました。CSLM（Coarsening of Solid-Liquid Mixtures）実験とは、混合された小さな粒子と大きな粒子の相互作用を調査する実験で、微小重力科学グローブボックス（MSG）の中で行われます。

また、テキサス州を襲った台風“Claudette”的映像および写真がルー宇宙飛行士によって撮影されました。



エクササイズを行なうルー宇宙飛行士



台風Claudetteの渦（7月15日撮影）

“今週の「きぼう」”

☆適合性確認試験（MEIT-III）の準備状況

米国フロリダ州NASAケネディ宇宙センターでは、「きぼう」船内実験室と第2結合部（ノード2）との適合性確認試験（MEIT-III）の準備が順調に進んでいます。

先週は、船内実験室の冷媒置換および冷却水配管内の空気除去を行い、環境制御系（ECLSS）／熱制御系（TCS）#2ラックの冷媒置換、環境制御系／熱制御系#1ラックへのフィルタ／ガス遮断弁の取り付けが完了しました。

MEIT-IIIは8月下旬から開始される予定です。



船内実験室ECLSS/TCSラック

（写真左：前面、写真右：背面、写真左の左側がECLSS、写真左の右側がTCS）

“お知らせ”

☆「きぼう」教育利用ワークショップ開催案内

ISSおよび「きぼう」日本実験棟の教育分野での利用を考えるワークショップが開催されます。海外宇宙機関における宇宙教育の利用報告や、日本の高校生が行ったタンパク質結晶成長実験結果報告、毛利宇宙飛行士による宇宙と教育についての話など盛りだくさんの内容です。入場無料でどなたでも参加できます。

日時：2003年8月6日（水）10:00～17:30

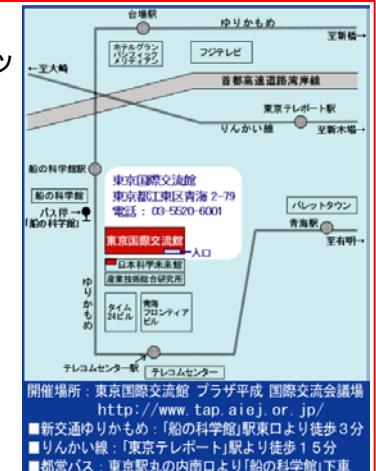
場所：東京国際交流館 プラザ平成 国際交流会議場（右記地図参照）

<http://www.tap.aiej.or.jp/>

問合せ/申込先（財）宇宙環境利用推進センター宇宙実験推進部（事務局）

電話：03-5273-2442 FAX：03-5273-0705

http://www.jsup.or.jp/frame_kibou/edu_1st.htm



☆宇宙開発フォーラム開催案内

文系的アプローチを学習・研究する契機を作ること及び、宇宙開発に関わる人々の相互交流・情報発信の場所を提供することを目的に、大学生を主な対象とした「宇宙開発フォーラム」が開催されます。

日時：2003年7月26日（土）～28日（月）／場所：日本科学未来館 7階

参加費：無料（レセプションを除く）

問合せ/申込先：宇宙開発フォーラム実行委員会（<http://sdf.xtr.jp/>）

2003年10月1日から宇宙開発事業団は独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）に移行します。



日本科学未来館



問い合わせ先：宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp/> Eメール kibokoho@nasda.go.jp

※「ISS・きぼう ウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本 ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。